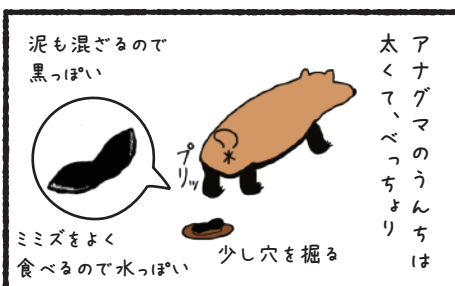
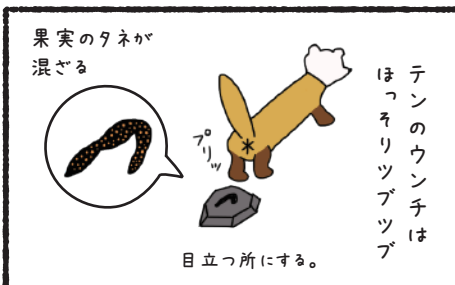


たかおさん

「うんちキング」の巻



作・絵：なかの

Xでおしらせ！ 高尾ビジターセンターニュース

高尾ビジターセンターのX（旧Twitter）・Facebookをチェックしていただいているみなさま、いつもご覧いただきありがとうございます！
山頂の気温や天気、旬な自然情報などを毎日発信しています。



高尾ビジターセンター【公式】@takaovc・2月18日

天気：晴 気温：-1.0℃ 富士山展望：○

稲荷山コースを巡視中に、2度も #トラツグミ に遭遇！
枯れ葉に紛れる、素敵な模様をしています。

#高尾山 #高尾ビジターセンター



10:45 · 2025/02/18 · 6425回表示

1 33 412 7

今年は全体的に冬鳥の少ない冬でした。一方で、トラツグミの目撃数は例年より多く、通勤中のビジターセンタースタッフを楽しませてくれました！この日、稲荷山コースで上がったスタッフは2回も遭遇したようです。羨ましい！

解説員

こらむ

vol.41

私に春を告げる木

時の流れは早いもので、私が高尾ビジターセンターに勤めて5年が経ちました。この間に変わった景色の中で、特に印象深い木があります。それは、清滝駅前広場のソメイヨシノです。昔、春の高尾山へ訪れた時も満開の花を咲かせるこの木がとても印象深く心に残っていました。

毎年、ちょうど目線の高さにある冬芽を観察していました。2月頃になると、固い冬芽が徐々に膨らんでいきます。3月中旬になると、つぼみが少しずつピンク色に変化してきます。誰よりも早く開花を見届けたい！と出勤するのが楽しみでした。

ちょうどこの時期は、山内で新しい葉が芽吹く頃。中腹の展望台から見える森がだんだんと萌黄色に変わる様子が春のはじまりを感じます。花が増え、鳥たちのさえずりがにぎやかになる、私が一番好きな時期が始まります。5年間見てきた清滝駅前広場のソメイヨシノは、私の中で「春を告げる木」として思い出深い存在でした。

しかし、2024年9月に木の内部が腐食してしまったことで伐採となりました。ずっと変わらないと思っていた場所に変化が訪れることで、改めて時の流れを実感しました。いつまでも変わらない美しい場所があれば、変わりゆく景色の中で新しくお気に入りとなる場所も増えるはず。みなさんは高尾山でお気に入りの場所がありますか？ぜひビジターセンターの窓口で教えてください。

〈解説員 かわまた〉

高尾山山頂から発信！

のぶすま

「のぶすま」とはムササビの古い呼び名です。

vol.79 季刊
2025年 春号

特集！

ほにゅうるい

フンからのぞく哺乳類の生活

登山中に野生哺乳類のフンを見かけたことはありますか？フンを観察することで、そのフンの主が予想できます。本号では、高尾山で見かける哺乳類のフンの見分け方や、そのフンから分かる哺乳類の暮らしを紹介します！

誰のフンだろう？



この特徴を持つ
フンの主は…？



テン

高尾山で見られる哺乳類のフンの中でも特に見かけることが多いです。なわばりを主張するため石垣の上など、目立つ場所にフンを残します。

特徴1

木の実や
昆虫が混じるから
雑食動物？

特徴2

倒木の上にあり、
とても目立っていた
何かのアピール？

高尾山で見かける哺乳類のフン



タヌキ

タヌキは主に家族で同じ場所にフンをします。他の個体のフンの匂いを嗅ぐことで、食べものや健康状態など情報交換の役割もあるようです。



アナグマ

食べ物と土と一緒に飲み込むことがあり、土っぽいフンになります。たまたま、ためフンをする場合がありますが、タヌキほど多く溜めません。



ムササビ

中身はほぼ植物の繊維です。樹上でフンをするため、木の周辺に落ちています。夜に高尾山を歩くと頭上から落ちてくるかも？

季刊高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」2025年春号vol.79

東京都高尾ビジターセンター自然解説員作成 2025年4月1日発行

所在地：〒193-0844東京都八王子市高尾町2176 電話：042-664-7872 FAX：042-662-9926

(公式ホームページでバックナンバーが閲覧できます <https://www.ces-net.jp/takaovc/>)

フンからわかる哺乳類の生活（タヌキ編）

周囲の動植物



昆虫の翅

サワガニの殻

カヤの葉

フンに混じっている物を調べてみると周囲にどんな生きものがいるのかが分かります。時には意外な物が混じっていることも…。

季節の変化



春

夏

秋

冬

キイチゴなど

ミスズナなど

ジャノヒゲなど

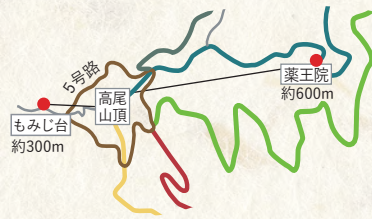
アケビなど

季節ごとにフンに混じる物が異なり、旬のものを食べていることが分かります。

行動範囲



山頂のフンに入っていたイチョウの実



山頂のためフンにイチョウの実が入っていました。山頂にイチョウはないため、もみじ台や薬王院まで移動している可能性があります。

フンと生き物の関係

種を運ぶ動物



果肉と一緒に種を食べる

動物が移動する

移動した先でフンに混ざった種が育つ

植物の中には、哺乳類や鳥に種ごと果実を食べられることで、種を遠くへ運んでもらう種類があります。植物にとって、これらの動物は種を運んでくれる大切な運搬係なのです。

フンを食べる昆虫



センチコガネ



ゴホンダイコクコガネ

フンの中には栄養が残っており、センチコガネなどの「糞虫」と呼ばれる虫たちのごちそうになります。高尾山ではシカが増えてきており、主にシカのフンを食べるゴホンダイコクコガネが見られるようになりました。

フンから見る人と動物の関わり

過去、高尾山では登山者の捨てた大量のゴミが原因で、カラスがゴミをあさる姿が見られていました。「ゴミ持ち帰り運動」を境に、放置ゴミやカラスの姿は減りましたが、今でもタヌキのフンから輪ゴムなどの人工物が見つかることがあります。消化できないだけでなく、人間の食べ物が哺乳類に害を及ぼすこともあります。高尾山の生き物たちのためにも、ゴミは持ち帰りましょう。



放置されたゴミ

フンに混じる輪ゴム

ほぼ毎日のように高尾山に登るスタッフでも、日中にタヌキやアナグマなどの哺乳類に出会うことは稀です。そこで私たちは、哺乳類のフンを手がかりに、彼らが高尾山で生きる姿に思いを馳せます。フンの観察は少し抵抗があるかもしれませんが、フンは暮らしを語る“代弁者”。食べたものや行動範囲など、彼らの暮らしを知る重要な情報が詰まっています。なかなか出会うことのない哺乳類たちのリアルな生活が見えてきますので、ぜひ観察に挑戦してみてください。〈解説員：やぎぬま〉

高尾山の「天狗伝説」

高尾山は昔から修行の場として知られており、天狗にまつわる伝説やスポットが残っています。高尾山と天狗にどのような関係があるのでしょうか。

高尾山は、山岳宗教や仏教などが融合した日本独自の修験道（しゅげんどう）の場であり、古くから山伏たちの修行の場として利用されてきました。この修行にいそしむ山伏はやがて高尾山の霊氣と融合し、呪力、験力（げんりき）を身につけることで峰入り（山伏が成仏修行を行うため霊山に入ること）の経験を重ねた先輩山伏である大先達となり、その姿が天狗と同一視されることも多かつたようです。

また、高尾山に生息するムササビが天狗の由来だとされる説もあります。ムササビの滑空、鳴き声、空から落ちてくるフンが天狗を連想させたと考えられています。ムササビと言え、空を滑空する哺乳類として有名で、高尾山ではこの滑空を一目見ようと多くの観察者がやってきます。かつて、灯りの無い真つ暗な山内では、この滑空時に起こる風を「天狗のうちわ」による物だと考えたのでしよう。次に鳴き声です。ムササビは「グルルル…」と、正体を知らない、聞きなれない不気味な声で鳴きます。姿さえ見れば可愛い見た目をしているムササビですが、昔の人は暗闇の中から聞こえてくる怪しい鳴き声を、妖怪の声だと思っても不思議ではありません。最後に紹介するのは、落ちてくるムササビのフンです。天狗は天狗礫（つぶて）という小石を投げてきます。ムササビは樹上で粒上のフンをパラパラと排泄するため、天狗礫とイメー



↑天狗の腰掛杉(1号路)

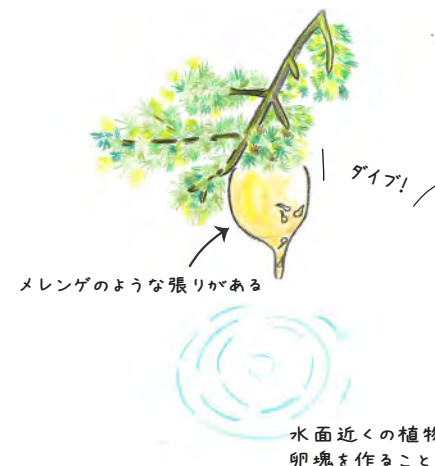
このよう天狗にまつわる様々なエピソードが残る高尾山ですが、かつて高尾山を保護していた戦国武将の信仰にも天狗が関わっています。高尾山では1375年京都にある醍醐山より俊源大徳が飯縄大権現を奉祀したと伝えられています。以後、飯縄大権現を守護神として崇めていたのが上杉謙信や武田信玄、そして当時、高尾山を含む武蔵国を治めていた北条氏照などの武将たちです。彼らは勝戦の神として熱心に飯縄大権現を崇拝していたとされています。この飯縄大権現の護衛の役割を担っていたのが天狗で、高尾山薬王院の飯縄大権現像の両脇には2人の天狗が立っているのです。

高尾山には天狗が腰かけたとされている「天狗の腰掛杉」や、道の真ん中に根を伸ばす一本杉を天狗様が切ろうとしたため道の邪魔にならないよう変わった形になった「たこ杉」、天狗説のあるムササビなど現在も天狗を感じられる様々な伝説やお話が残っています。ぜひ高尾山の豊かな自然の中を歩きながら天狗の存在を感じてみてください。

〈解説員 わたなべ〉

見られる時期…5月下旬
見られる場所…流れの少ない水辺

モリアオガエルは梅雨になると、水面上にせり出した木の枝などに泡状の卵塊を作ります。孵化後に雨が降り、泡が溶けると枝の上から水面に向かってオタマジャクシがスカイダイブ！自然界を生き抜く逞しさを感じますね。



水面近くの植物に卵塊を作ることもある

産まれてすぐにスカイダイブ！？

モリアオガエルの卵塊

解説員の

ちおし

vol.37

〈解説員 おざき〉